

県勢動態指標

平成28年5月報告分

1 気象 ～月平均気温、月降水量とも平年を上回る～

(高松:28年4月) 月平均気温は、16.1℃と平年(14.4℃)を1.7℃上回った。
月降水量は、84.5mmと平年(76.4mm)を8.1mm上回った。

2 人口 ～自然動態・社会動態ともに減少～

(香川県:28年4月1日現在 平成27年国勢調査の速報値を基に推計しています。)

推計人口 972,675人 前月に比べ2,525人の減少となった。

自然動態で525人の減少(出生623人、死亡1,148人)

社会動態で2,000人の減少(転入6,849人、転出8,849人)

市町別にみると、丸亀市の28人、多度津町の7人など1市2町で増加、

高松市の△1,692人、さぬき市の△163人など7市7町で減少した。

世帯数 399,185世帯 前月に比べ301世帯の増加となった。

3 鉱工業生産指数 ～2か月連続で上昇～

(香川県:28年2月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 109.7 前月比で7.3%上昇した。

上昇に寄与した主な業種:非鉄金属工業(電気金)、はん用・生産用機械工業(貯蔵槽)

低下に寄与した主な業種:化学・石油石炭製品工業(医薬品)

プラスチック製品工業(フィルム・シート)

(全国:28年3月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 96.6 前月比で3.6%上昇した。

経済産業省は基調判断を「生産は一進一退」としている。

輸送機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業等が上昇し、
情報通信機械工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業が低下した。

4 物価 ～前年同月比は同水準—総合—(高松市)～

消費者物価指数(総合)(H22=100)

(高松市:28年3月) 103.1 前月比0.1%上昇

上昇に寄与した主な項目:洋服、家事雑貨など

下落に寄与した主な項目:教養娯楽用耐久財、ガス代など

前年同月比 同水準

上昇に寄与した主な項目:教養娯楽用耐久財、シャツ・セーター類など

下落に寄与した主な項目:自動車等関係費、家賃など

(全国:28年3月) 103.3 前月比0.1%上昇

上昇に寄与した主な項目:衣料など

前年同月比0.1%下落

下落に寄与した主な項目:電気代、自動車等関係費など

5 百貨店・スーパー販売状況 ～全店ベース 12か月連続で前年同月を上回る～

(既存店ベース 3か月ぶりに前年同月を下回る)

百貨店・スーパー販売額

(香川県:28年3月) 125億2,463万円と前年同月比で0.8%増加 うち既存店の状況は、前年同月比で1.2%減少
その他の商品、家庭用品などで前年を上回った。

(全国:28年3月) 1兆6,460億円と前年同月比で0.2%減少 うち既存店の状況は、前年同月比で1.2%減少

※参考

専門量販店販売額(28年3月) ()は前年同月比、全店ベース

	香川県		全国	
家電大型専門店	27億6,900万円	(1.8%増加)	家電大型専門店	3,817億5,100万円 (6.3%減少)
ドラッグストア	31億7,700万円	(6.6%増加)	ドラッグストア	4,676億5,600万円 (6.3%増加)
ホームセンター	21億8,700万円	(0.9%減少)	ホームセンター	2,628億8,600万円 (0.9%増加)

6 労働 ～有効求人倍率 低下～

有効求人倍率 28年3月 (季節調整済)

(香川県) 1.49倍 (全国第9位) (56か月連続で1倍台) (前月7位) 前月より0.02ポイント低下
月間有効求職者数 17,770人 月間有効求人数 27,576人 就職件数 2,340件
正社員の有効求人倍率(原数値) 1.03倍
(全国) 1.30倍 前月より0.02ポイント上昇
(徳島) 1.25 24位 (愛媛) 1.39 12位 (高知) 1.06 37位 (岡山) 1.57 6位

常用雇用指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年2月) 101.9 前年同月比で1.6%上昇
(全国:28年3月) 100.3 前年同月比で1.2%上昇

所定外労働時間指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年2月) 97.5 前年同月比で1.8%上昇
(全国:28年3月) 109.1 前年同月比で0.7%低下

完全失業率

(全国:28年3月 季節調整済) 3.2% 前月比で0.1ポイント低下
(香川県:27年10-12月 モデル推計値) 2.7% 前年同期比で0.2ポイント低下

7 倒産状況 ～件数・負債総額ともに 前年同月を上回る～

(香川県:28年4月) 企業倒産(負債額1,000万円以上)
件数 5件 前年同月と比べ2件増加
負債総額 8億1,800万円 前年同月と比べ7億2,700万円増加

8 主要観光地観光客数 ～四大観光地入込み人数 2か月連続で前年同月を上回る～

(四大観光地:28年3月) 入込み人数は、379,037人と前年同月比で5.0%増加した。
(栗林公園) 67,899人 9.1%減少 (屋島) 46,493人 13.4%増加
(琴平) 167,000人 5.0%増加 (小豆島) 97,645人 13.2%増加

9 瀬戸大橋通行台数 ～日平均交通量 5か月連続で前年同月を上回る～

(28年4月) 通行台数(日平均) 21,583台 前年同月比で6.2%増加 (1,253台)

10 航空機(羽田線) ～利用者数 3か月連続で前年同月を上回る～

(28年4月速報)	利用者数	99,545人	前年同月比で4.0%増加	
	利用率	62.6%	前年同月と比べ4.3ポイント上昇	座席数は前年同月比3.1%減少
※参考	那覇便	利用者数	14,770人	前年同月比で0.9%減少
(28年4月速報)	利用率	81.6%	前年同月と比べ1.4ポイント上昇	座席数は前年同月比2.6%減少
	ソウル便	利用者数	3,237人	前年同月比で12.1%増加
	利用率	68.8%	前年同月と比べ3.3ポイント低下	座席数は前年同月比17.4%増加
	上海便	利用者数	4,933人	前年同月比で14.7%減少
	利用率	80.6%	前年同月と比べ13.9ポイント低下	座席数は前年同月と同水準
	台北便	利用者数	5,497人	前年同月比で25.1%増加
	利用率	67.0%	前年同月と比べ10.5ポイント低下	座席数は前年同月比44.8%増加

11 交通事故発生状況 ～死者数 7か月ぶりに前年同月を上回る～

(香川県:28年4月速報) 交通(人身)事故発生件数 507件 前年同月(660件)と比べ153件の減少
死者数 7人 前年同月(4人)と比べ3人の増加
負傷者数 618人 前年同月(803人)と比べ185人の減少